



平成 30 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 エス・サイエンス
代表者名 代表取締役会長 品田 守敏
(コード: 5721 東証第1部)
問合せ先 取 締 役 社 長 甲佐 邦彦
(TEL. 03 - 3573 - 3721)

平成 30 年 3 月期 通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、下記のとおり平成 29 年 11 月 13 日に公表した平成 30 年 3 月期の業績予想における予想値と本日公表の決算において差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 29 年 11 月 13 日発表)	1,050	△220	△185	△195	△1円94銭
今回実績(B)	1,045	△309	△267	△273	△2円72銭
増減額(B-A)	△5	△89	△82	△78	—
増減率(%)	△0.5	—	—	—	—
(参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	1,306	△92	25	44	0円44銭

2. 業績予想と実績との差異の理由

売上高については、ほぼ予定通りの結果となりましたが、営業利益・経常利益・当期純利益は前回予想を下まわりました。

営業利益につきましては、ニッケル事業でLME価格の上昇で仕入価格が値上がりしたため、売上原価が増加しました、教育事業については下期において生徒数の減少(卒塾生含む)が大きかったため、売上予想を下まわり、また教材費・広告宣伝費等の経費にリストラに関する経費(退職者への手当等の撤退関連費用)も加わったため、教育関連事業原価等が予想を上まわりました。

このためセグメントでの営業利益は、不動産事業においては前回予想した通りでございましたが、ニッケル事業で22百万円、教育事業で52百万円の損失が膨らみました。有価証券評価益等を加味しましたが、経常利益・当期純利益も前回の予想を下まわりました。

以 上